

中期目標・中期計画の作成方針（案）

1 中期目標作成の視点

県が設置した大学として、「地域に根ざした、県民から信頼される大学」を基本理念とし、第一期中期目標期間においては、公立大学法人化の利点を活かしつつ、学生等の満足度を向上させるため、次に掲げる目標を推進するものとし、特に、「**確かな教育と研究に支えられた実践力の養成**」の観点から教育・研究・地域貢献活動等を積極的に推進する。

(1) 実践力のある人材の育成

主体的に考え、行動し、地域社会で活躍できる実践力のある人材を育成するため、アドミッションポリシーに応じた入学者を確保するとともに、教育内容の充実強化を図る。また、きめ細かな就職支援を行い、地域社会で活躍する人材を輩出していく。

(2) 地域に根ざした高度な研究

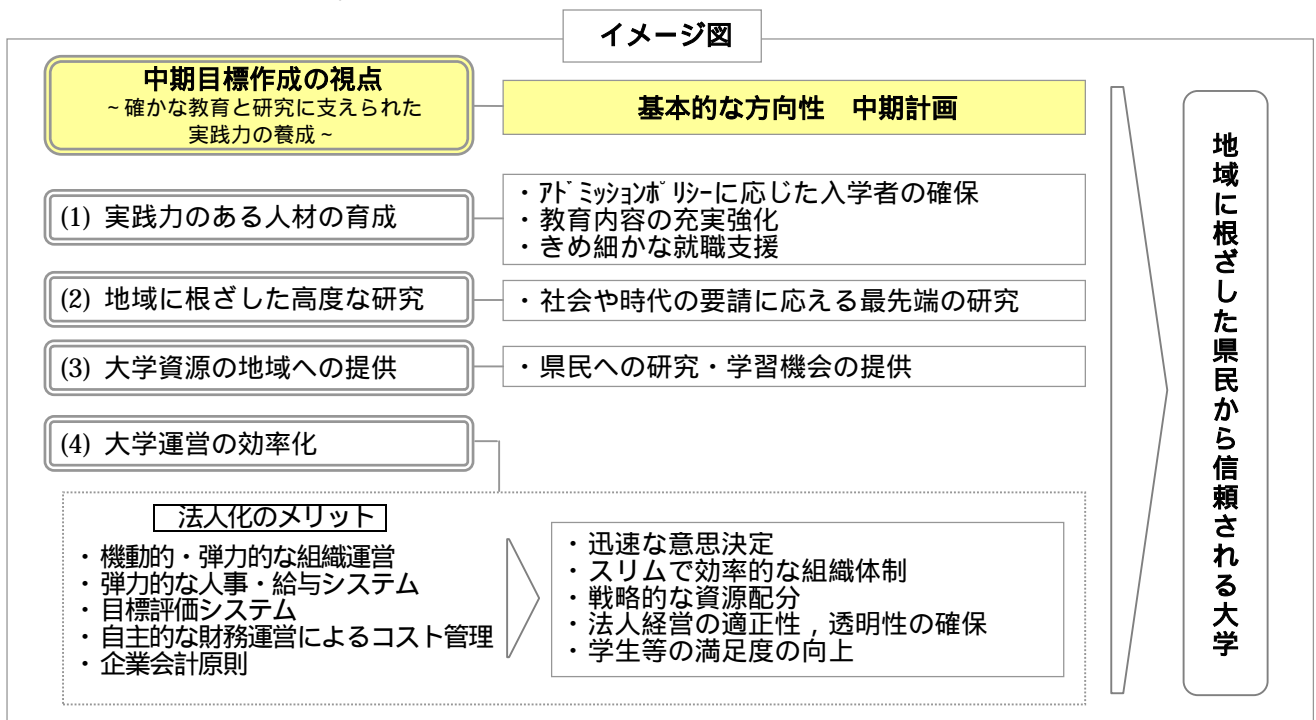
社会や時代の要請にこたえる最先端の研究を行い、その成果を地域に還元していく。このため、積極的に地域との連携を図り、地域の課題に対する研究を進めるとともに、企業等が求める研究を行う。

(3) 大学資源の地域への提供

地域のシンクタンクとしての役割を果たすとともに、生涯学習意欲の高まり等も視野に入れながら、大学が持つ知的・物的資源を地域に積極的に提供し、地域産業、地域社会の活性化に貢献する。

(4) 大学運営の効率化

公立大学法人化の利点を活かしながら、社会経済情勢の変化に迅速に対応し、効率的で透明性の高い大学運営を行う。



2 記載内容

法人による自律的な大学改革を促す観点から、中期目標においては、法人が達成すべき業務運営に関する基本的な方向性を示す。

なお、中期目標を達成するために法人が作成する中期計画については、可能な限り数値目標や達成年次を示すなど、その達成状況が把握しやすいような内容を記載する。

3 中期目標（素案）の骨格

別紙を参照